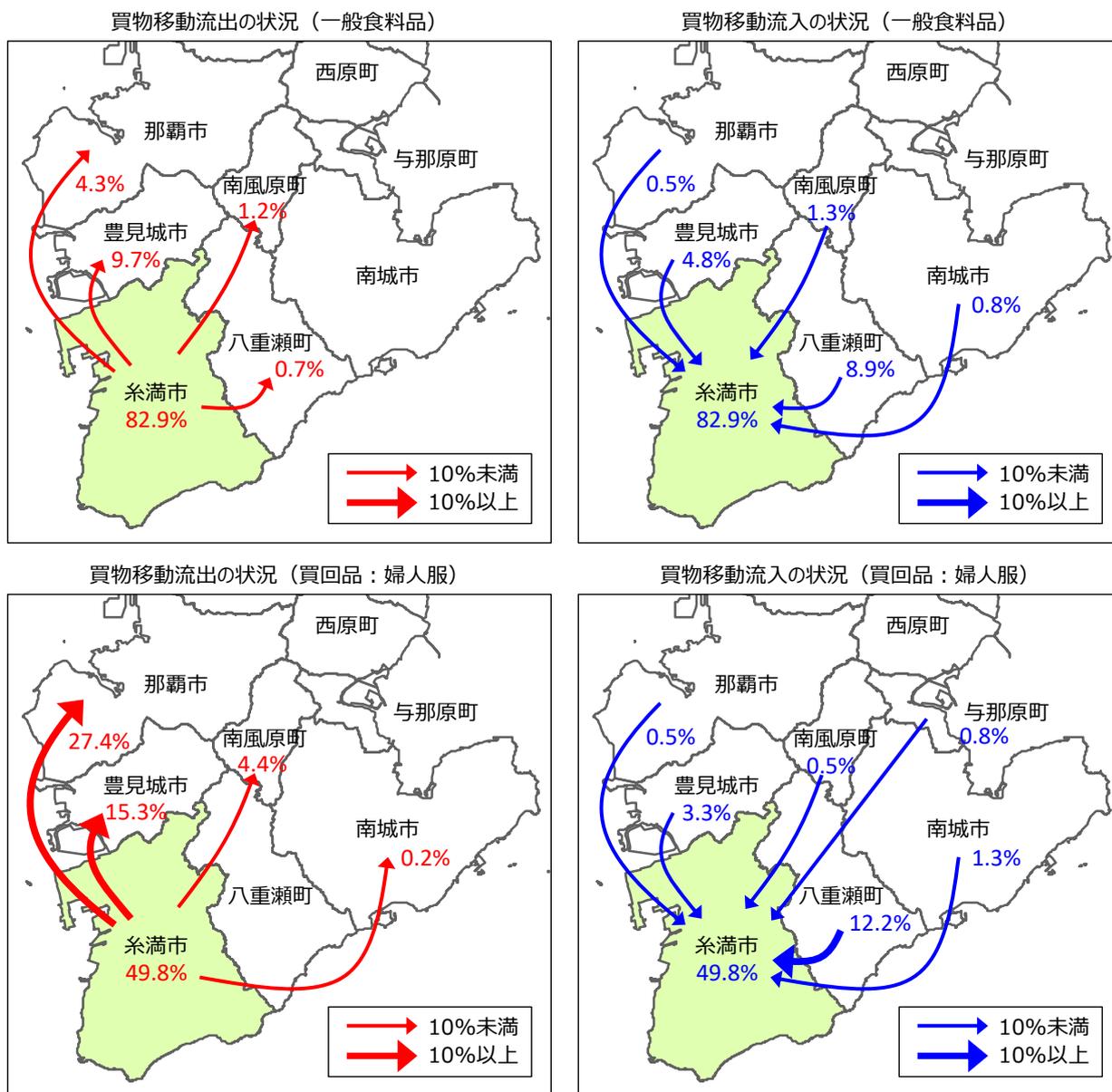


## (2) 市民の移動動向

### ①生活移動の概要（H22 沖縄県買物動向調査）

日常的な一般食料品における地元購買率は82.9%と高い一方、買回品（婦人服）の地元購買率は49.8%と低く、那覇市へ27.4%、豊見城市へ15.3%の流出がみられます。（下図参照）

また、買物時の移動手段としては、「自家用車」が88.6%と最も利用されており、「バス・タクシー」の利用は1.6%です。（下表参照）



▲買物移動における流出・流入状況

※出典：平成22年度 沖縄県買物動向調査報告書（平成23年3月）

		徒歩	バス・タクシー	自家用車	自転車・バイク	モノレール	その他	合計
人数	糸満市	25	6	325	9	0	2	367
構成比	糸満市	6.8%	1.6%	88.6%	2.5%	0.0%	0.5%	100.0%
	県平均	12.1%	3.4%	81.2%	2.4%	0.2%	0.7%	100.0%

▲買い物時の移動手段割合

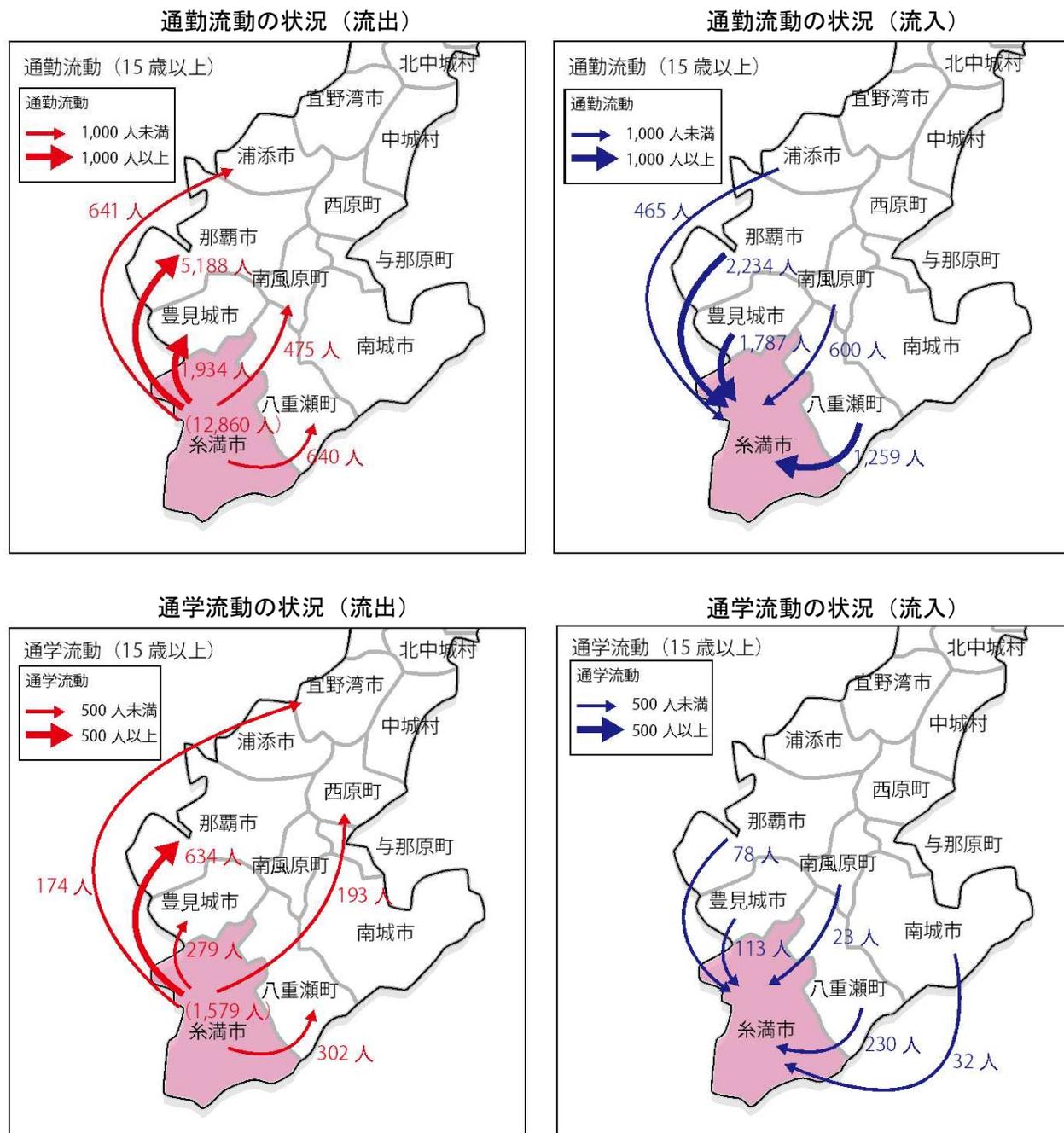
出典：平成22年度 沖縄県買物動向調査報告書（平成23年3月）

## ②通勤通学流動の概要 (H22 国勢調査)

通勤の状況は、糸満市内への就業が12,860人(52.9%)と最も多く、次いで那覇市が5,188人(21.4%)、豊見城市が1,934人(8.0%)と続いています。

通学の状況は、糸満市内の通学が1,579人(43.9%)と最も多く、次いで那覇市が634人(17.6%)、八重瀬町が302人(8.4%)と続いています。

また、通勤・通学の移動手段としては、糸満市内への通勤・通学、他市町村への通勤・通学ともに「自家用車」が最も利用されています。「乗合バス」の利用は、糸満市内へ通勤・通学者のうち300人(2.5%)、他市町村への通勤・通学者のうち1,040人(8.2%)でした。



▲通勤通学流動図※平成22年国勢調査

	通勤・通学者数		構成比	
	糸満市内 に通勤・通学	他市町村 に通勤・通学	糸満市内 に通勤・通学	他市町村 に通勤・通学
徒歩だけ	1,875	85	15.6%	0.7%
鉄道・電車	1	107	0.0%	0.8%
乗合バス	300	1,040	2.5%	8.2%
勤め先・学校のバス	85	107	0.7%	0.8%
自家用車	8,165	9,697	67.9%	76.8%
ハイヤー・タクシー	65	47	0.5%	0.4%
オートバイ	685	1,465	5.7%	11.6%
自転車	609	239	5.1%	1.9%
その他	288	252	2.4%	2.0%
不詳	273	293	2.3%	2.3%
全 体	12,031	12,626	100.0%	100.0%

▲通勤・通学時の移動手段割合（流出のみ）※平成22年国勢調査

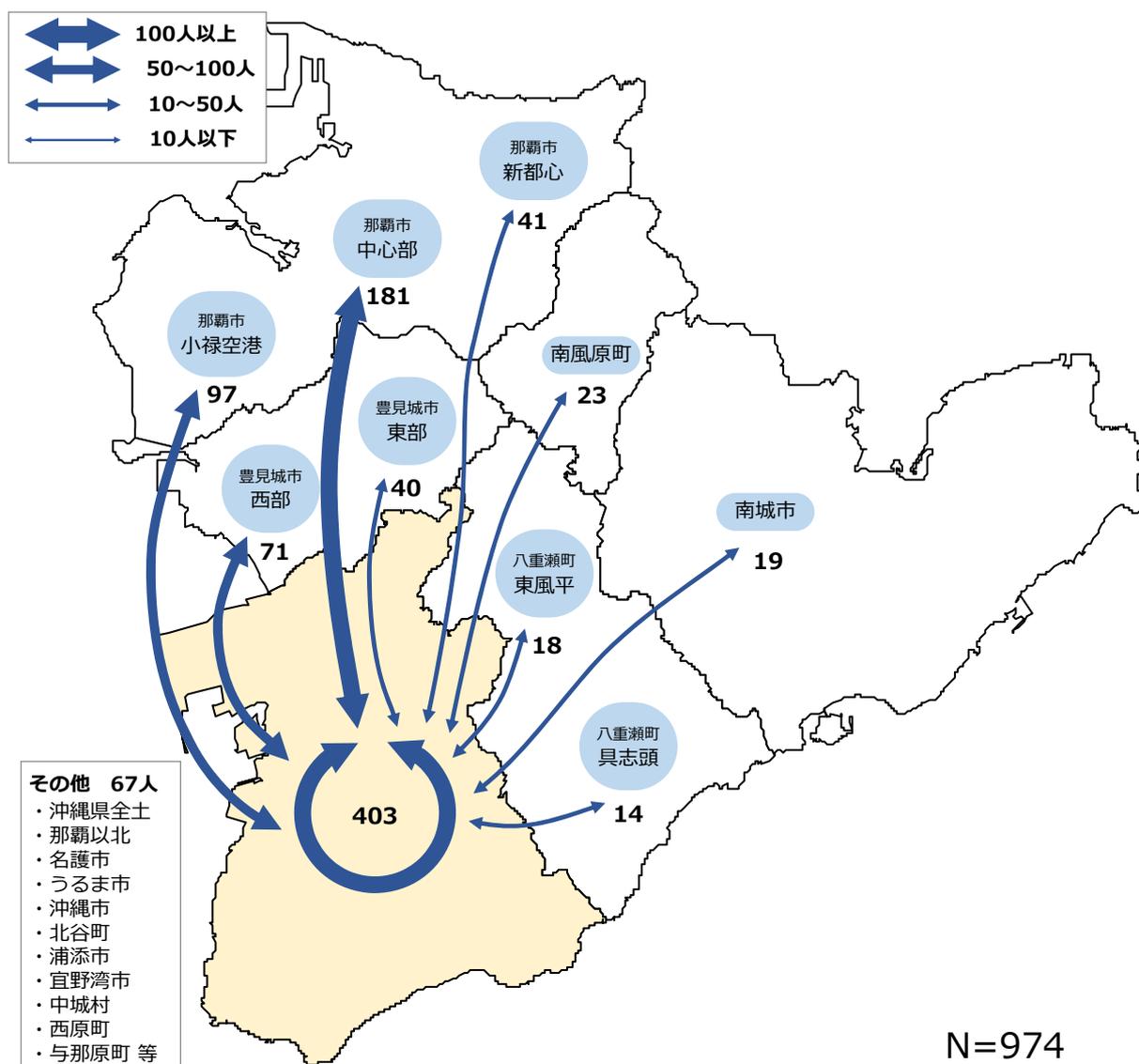
### ③市外行先別流動（H30 公共交通に係る市民アンケート調査）

平成 30 年度に実施した市民アンケート結果から市民の動向を行先別で整理しました。

（参考）全世帯 23,079 部配布、回収数 1,400 部、回収率約 6%

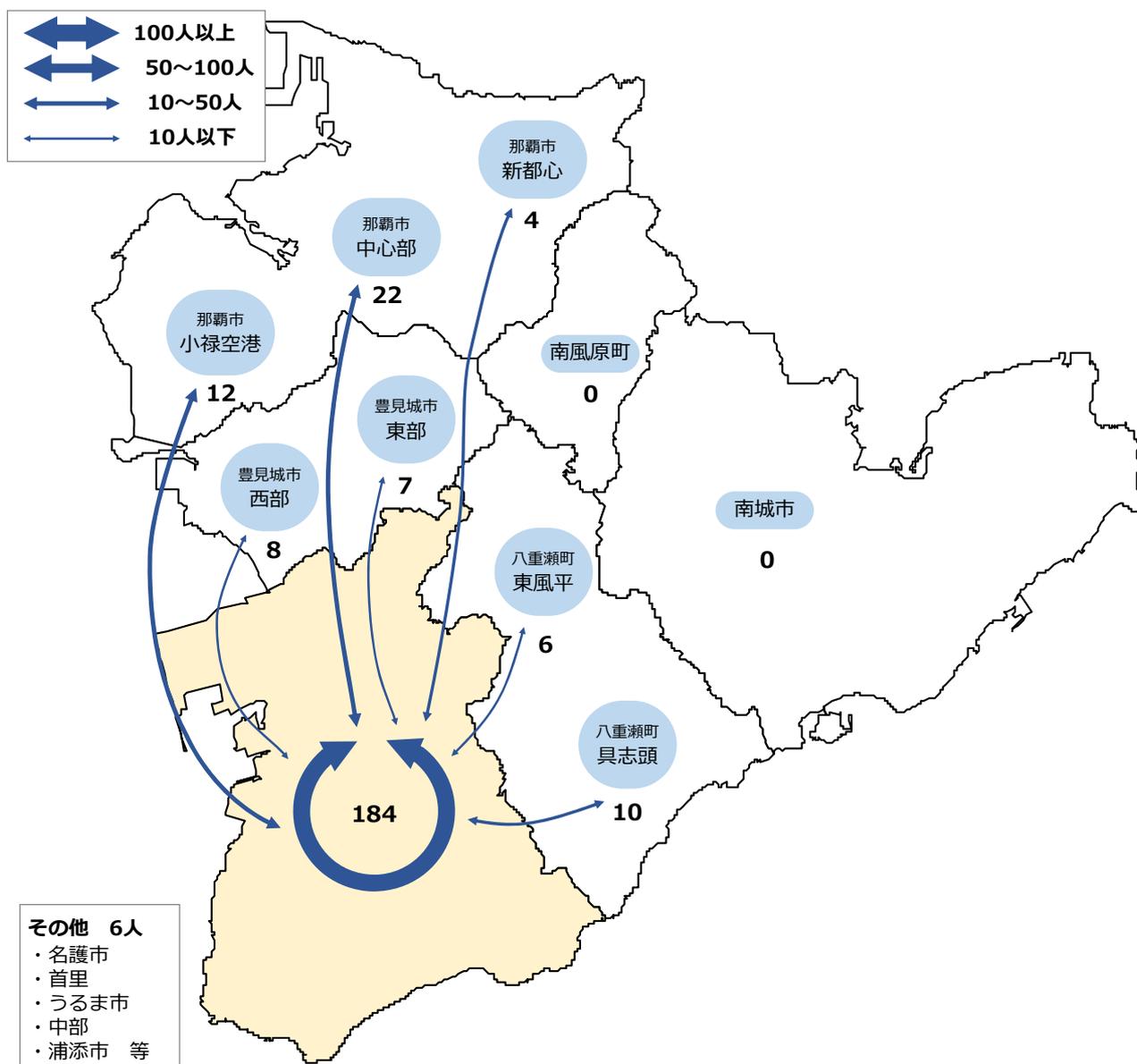
#### 【通勤流動】 複数選択可

方面	糸満地区	兼城地区	西崎地区	高嶺地区	三和地区	合計
糸満市内	100	151	66	39	47	403
那覇市中心部	47	71	31	12	20	181
新都心方面	8	18	6	3	6	41
小禄・空港方面	28	38	17	9	5	97
豊見城市西部	16	33	10	5	7	71
豊見城市東部	10	18	7	2	3	40
八重瀬町東風平	2	10	4	0	2	18
八重瀬町具志頭	4	6	2	1	1	14
南風原町	7	10	4	2	0	23
南城市	6	9	4	0	0	19
その他	10	30	13	6	8	67



## 【通学流動】 複数選択可

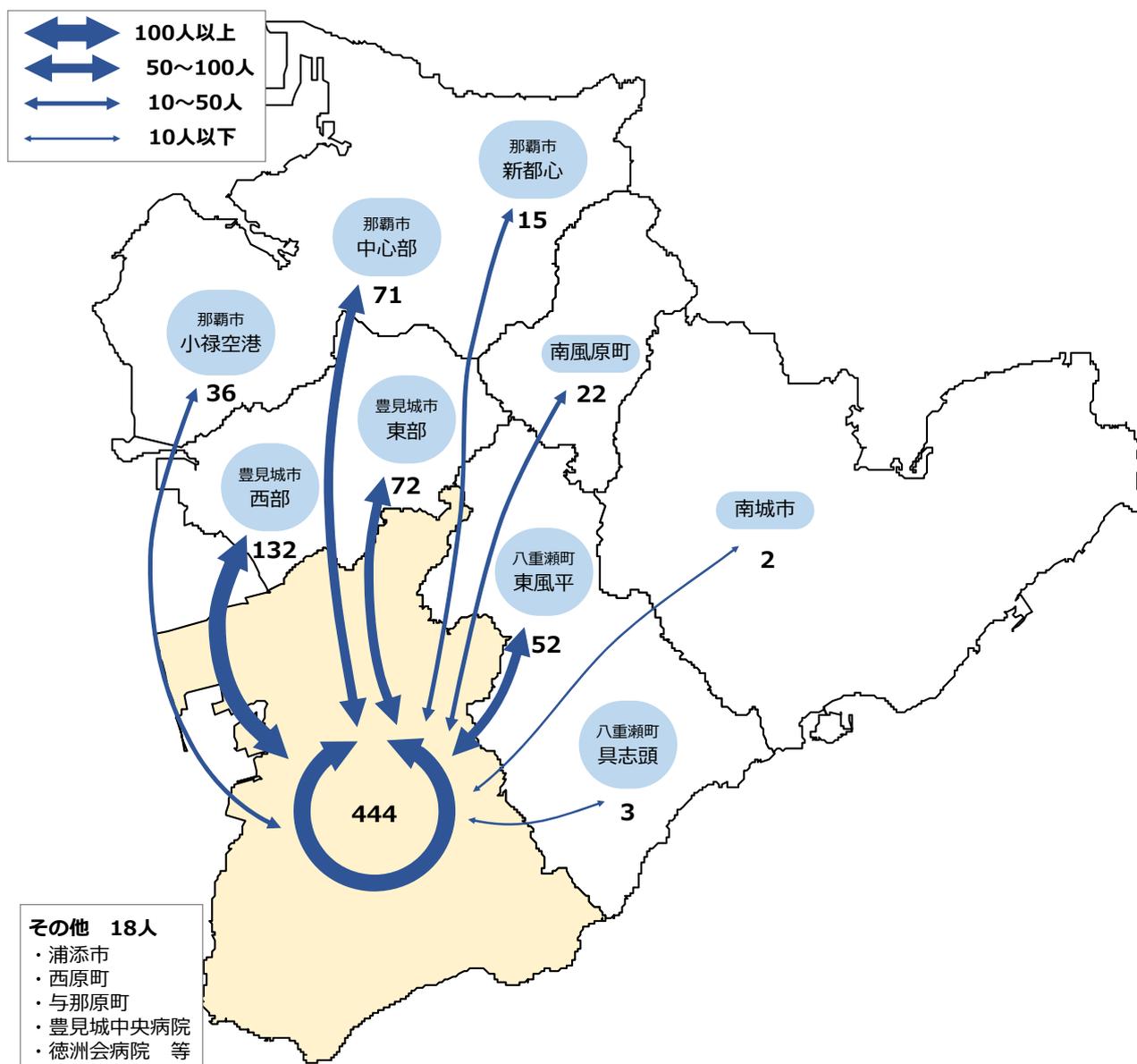
方面	糸満地区	兼城地区	西崎地区	高嶺地区	三和地区	合計
糸満市内	42	71	31	21	19	184
那覇市中心部	4	8	3	2	5	22
新都心方面	1	1	2	0	0	4
小禄・空港方面	0	5	6	1	0	12
豊見城市西部	1	5	2	0	0	8
豊見城市東部	1	3	1	0	2	7
八重瀬町東風平	1	3	1	1	0	6
八重瀬町具志頭	3	5	0	2	0	10
南風原町	0	0	0	0	0	0
南城市	0	0	0	0	0	0
その他	1	3	1	0	1	6



N=259

## 【通院流動】 複数選択可

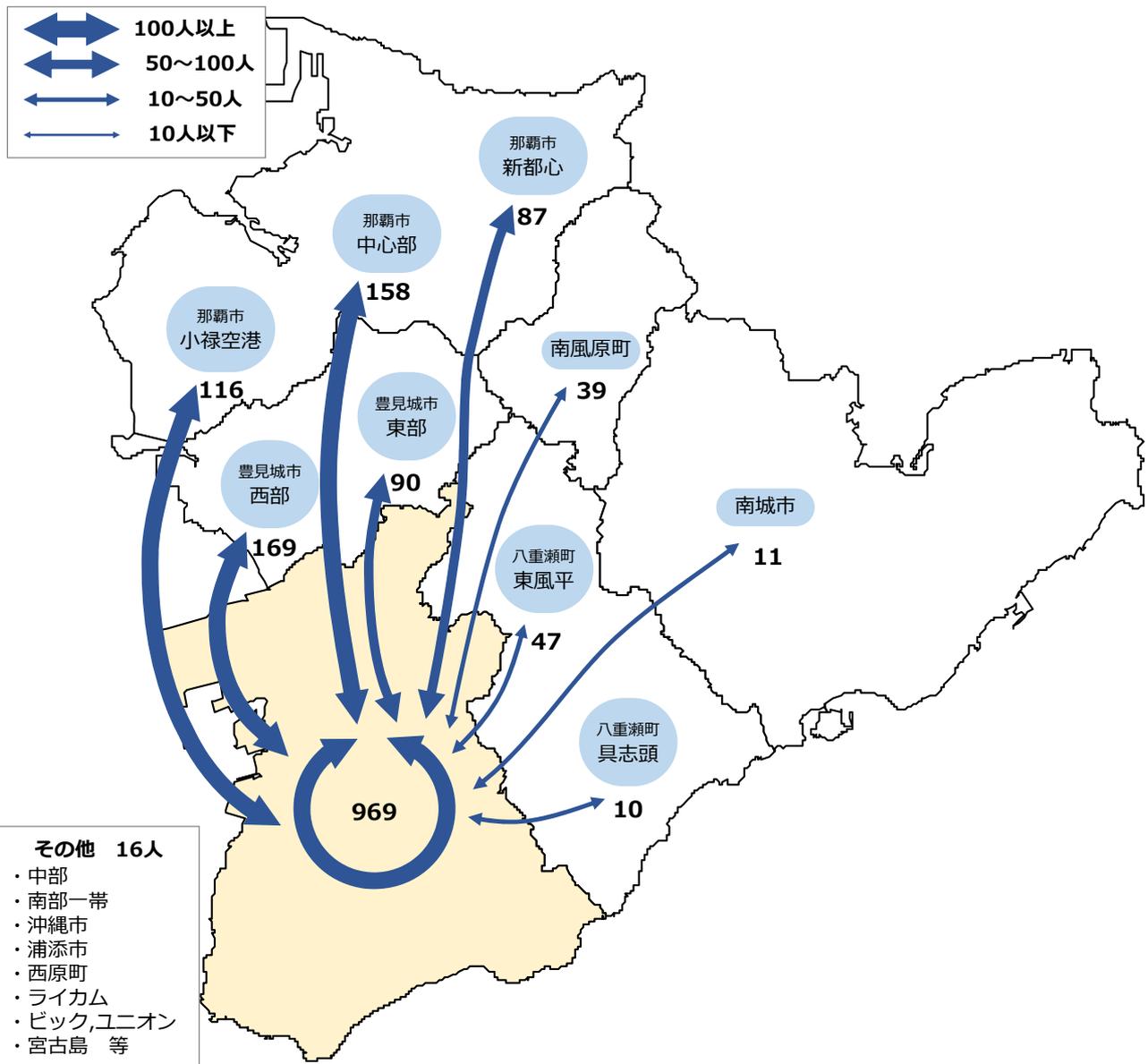
方面	糸満地区	兼城地区	西崎地区	高嶺地区	三和地区	合計
糸満市内	99	161	78	46	60	444
那覇市中心部	14	33	11	4	9	71
新都心方面	3	7	2	0	3	15
小祿・空港方面	10	14	7	2	3	36
豊見城市西部	22	55	26	11	18	132
豊見城市東部	11	26	16	6	13	72
八重瀬町東風平	11	17	10	6	8	52
八重瀬町具志頭	2	1	0	0	0	3
南風原町	3	6	3	5	5	22
南城市	1	0	1	0	0	2
その他	5	8	1	2	2	18



N=867

【買物流動】 複数選択可

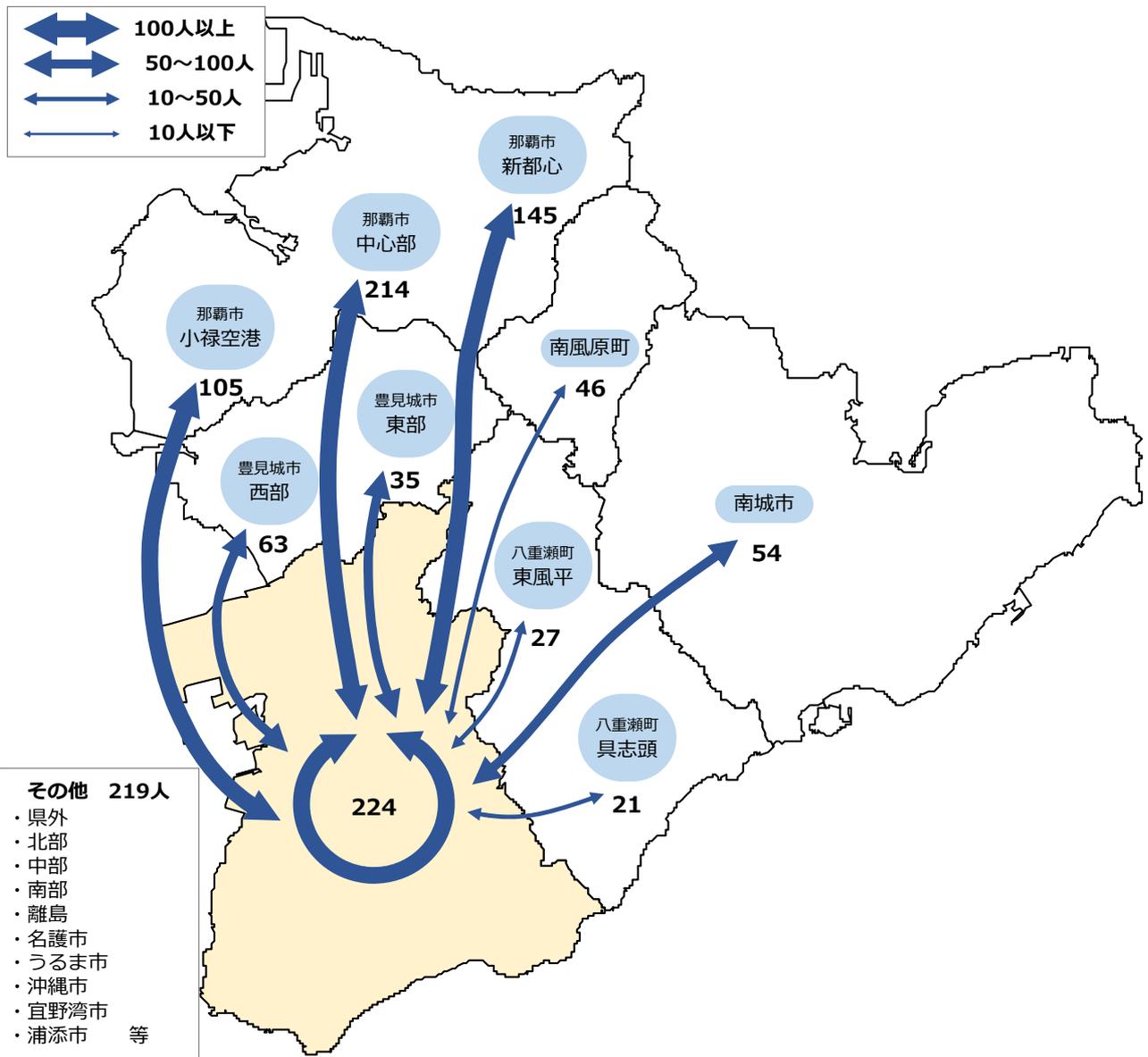
方面	糸満地区	兼城地区	西崎地区	高嶺地区	三和地区	合計
糸満市内	216	364	158	109	122	969
那覇市中心部	37	69	21	12	19	158
新都心方面	24	34	11	10	8	87
小祿・空港方面	24	51	15	14	12	116
豊見城市西部	35	68	29	16	21	169
豊見城市東部	23	37	13	8	9	90
八重瀬町東風平	7	17	7	7	9	47
八重瀬町具志頭	3	3	3	1	0	10
南風原町	8	18	6	2	5	39
南城市	1	5	4	1	0	11
その他	1	7	4	1	3	16



N=1,712

## 【レジャーと観光流動】 複数選択可

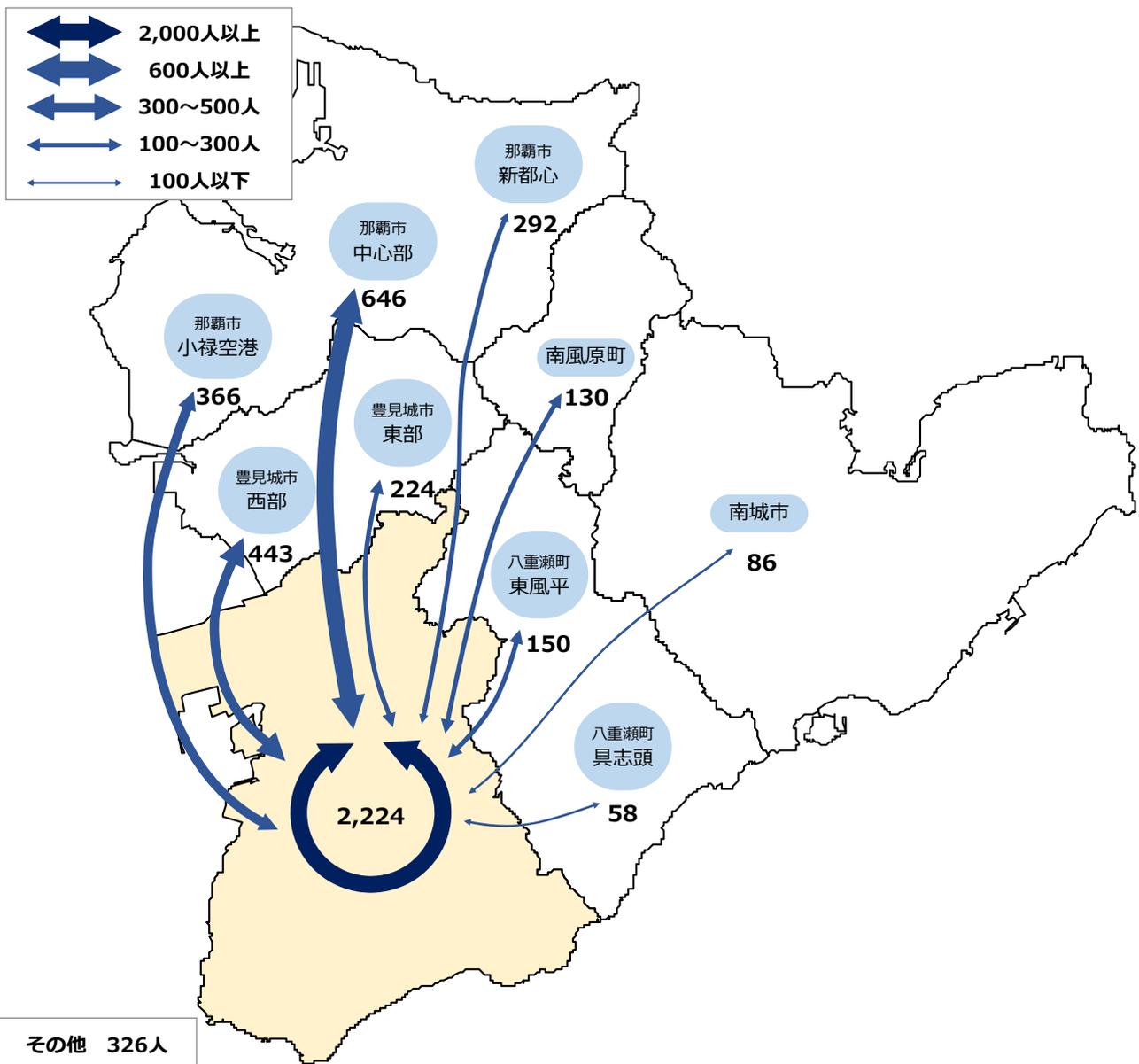
方面	糸満地区	兼城地区	西崎地区	高嶺地区	三和地区	合計
糸満市内	60	77	33	28	26	224
那覇市中心部	51	90	29	20	24	214
新都心方面	34	55	25	19	12	145
小祿・空港方面	26	44	13	11	11	105
豊見城市西部	15	24	11	7	6	63
豊見城市東部	7	18	5	3	2	35
八重瀬町東風平	7	12	3	4	1	27
八重瀬町具志頭	6	7	3	4	1	21
南風原町	8	20	9	5	4	46
南城市	13	25	8	3	5	54
その他	56	81	33	23	26	219



N=1,153

【すべての流動まとめ】 複数選択可

方面	通勤	通学	通院	買物	レジャー	合計
糸満市内	403	184	444	969	224	2,224
那覇市中心部	181	22	71	158	214	646
新都心方面	41	4	15	87	145	292
小禄・空港方面	97	12	36	116	105	366
豊見城市西部	71	8	132	169	63	443
豊見城市東部	40	7	72	90	35	244
八重瀬町東風平	18	6	52	47	27	150
八重瀬町具志頭	14	10	3	10	21	58
南風原町	23	0	22	39	46	130
南城市	19	0	2	11	54	86
その他	67	6	18	16	219	326

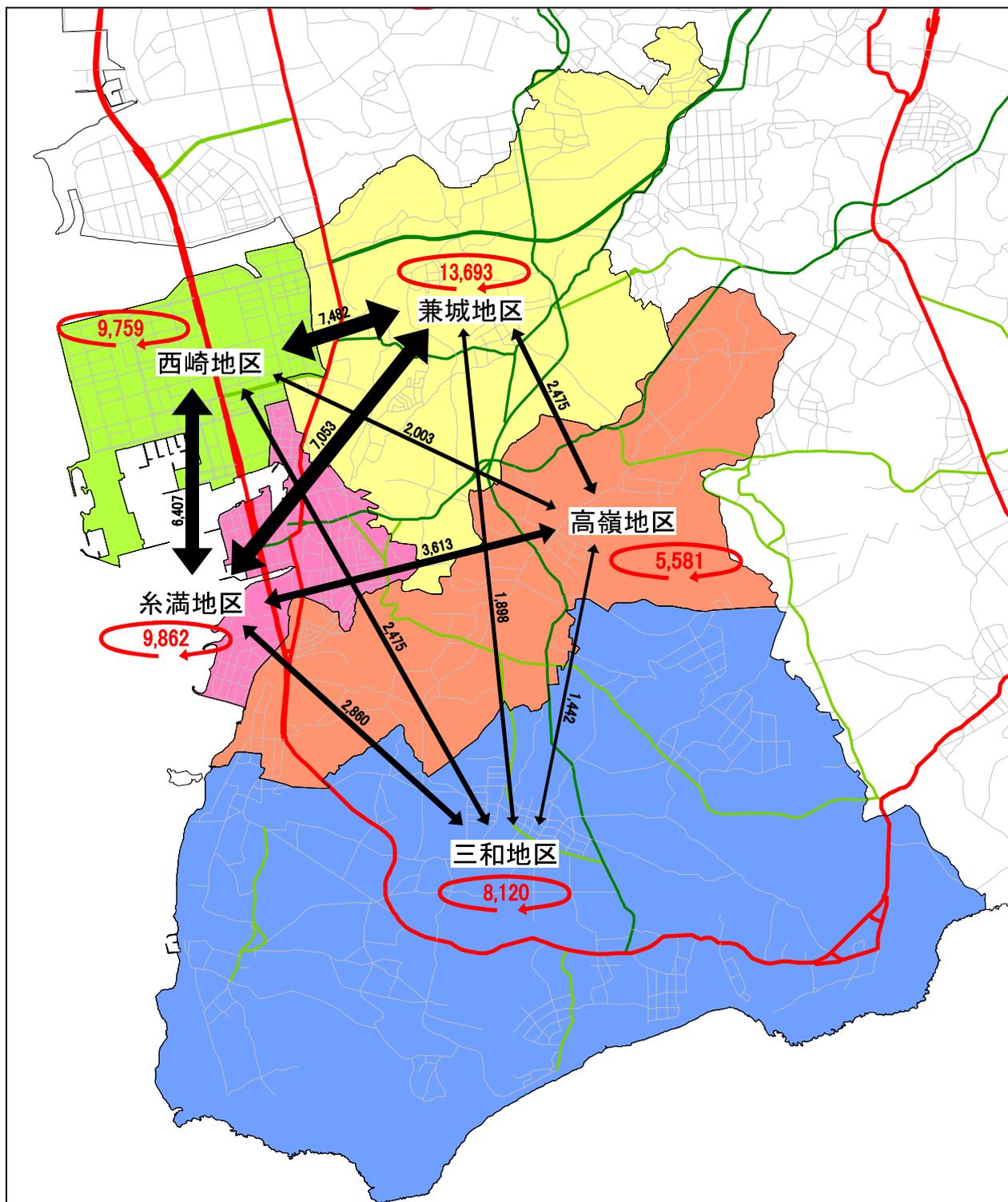


N=4,965

#### ④市内地区間移動動向（H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査）

糸満市民の移動特性として「糸満地区」「兼城地区」「西崎地区」間を往来する移動が多くみられます。

また、全地区とも糸満市役所や糸満バスターミナルなどが立地する「糸満地区」との往来が最も多い傾向で、市民生活の中心地として位置づけられている事が伺えます。



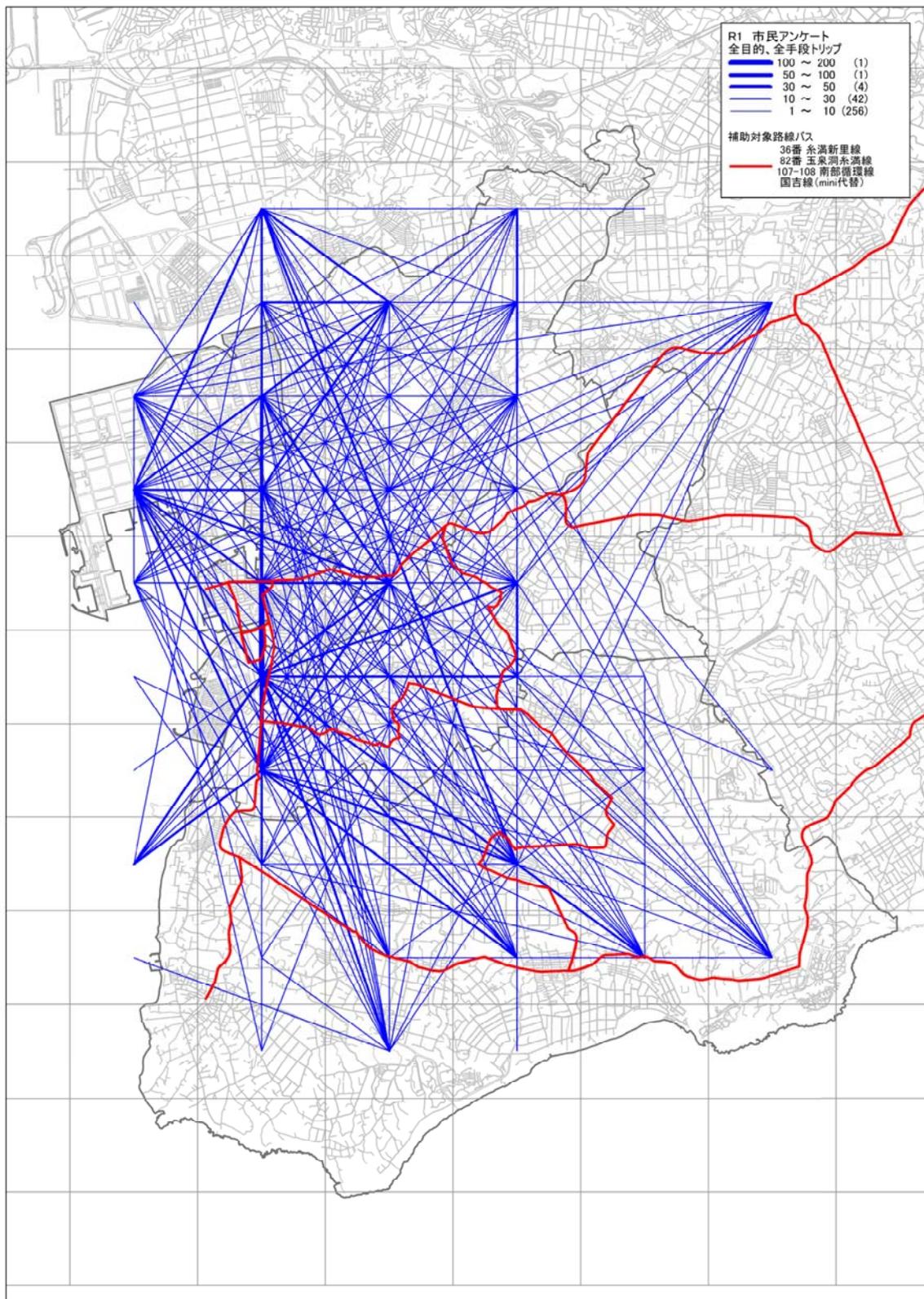
▲市民の域内移動状況 (単位: トリップ/平日)

※H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査 (調査時期: H18年10月, 11月平日1日)

### ⑤市内行先別流動（H31 公共交通に係る市民アンケート調査）

市民アンケートで、通勤・通学・通院・買い物・レジャーの目的で移動する施設を伺い、該当する施設と居住地との流動を分析しました。

全地区とも前述した H18PT 調査と同様、市の中心市街地への移動需要が多い傾向であるが、市内の各地区をまたぐ移動需要も多いことから、現在の路線バスルートと移動需要がマッチしていないことが伺えます。



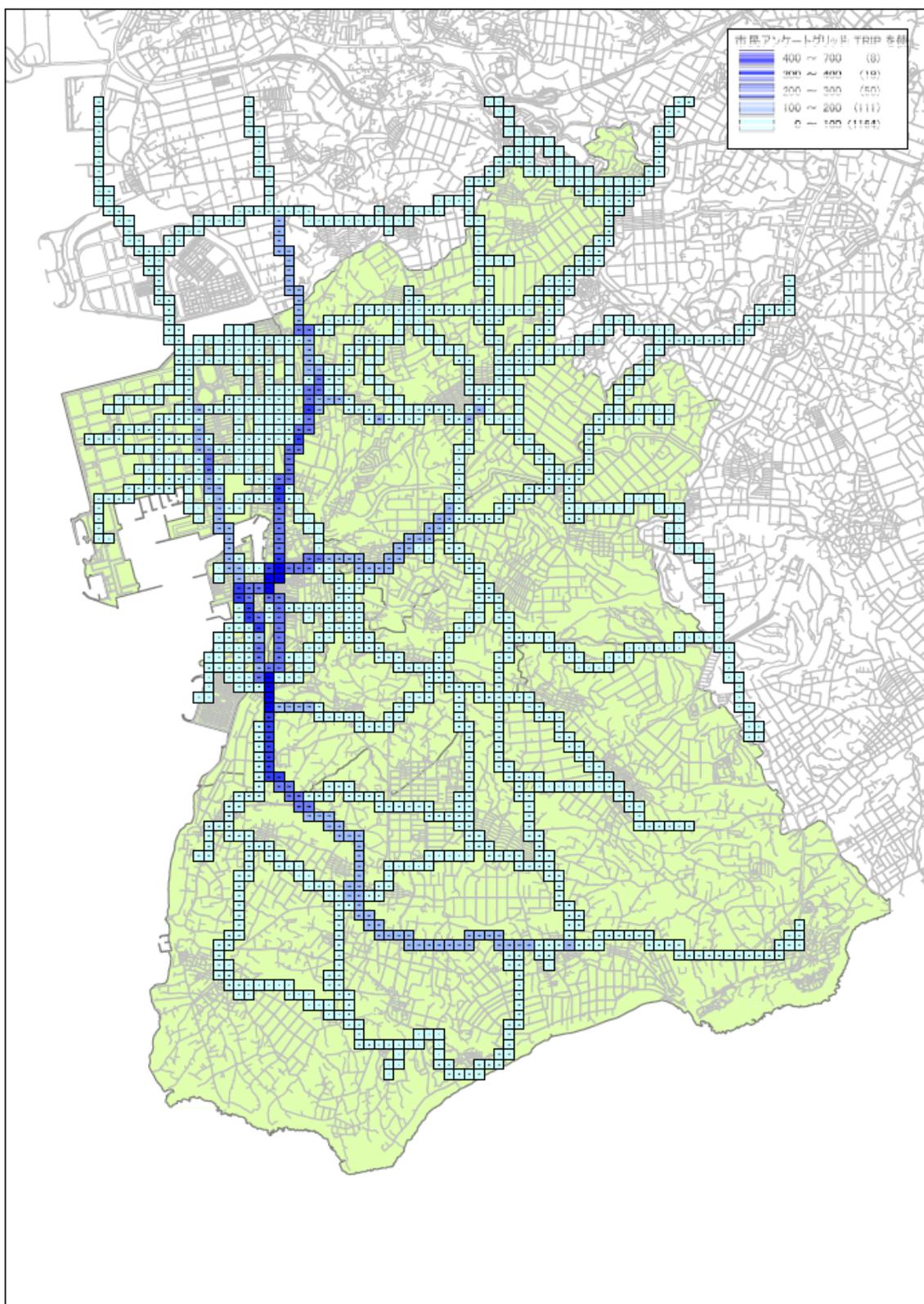
▲糸満市民の域内移動状況（1kmメッシュ）

## ⑥市民の移動ルート推定（H31 公共交通に係る市民アンケート調査）

前述した H31 市民アンケートによる主な移動（全目的）を、起終点を元に移動ルートを特定し、100m メッシュで集計を行いました。

移動特定には最短時間経路を用いており、所要時間の算出においては道路種別毎に下記速度を設定のうえ試算しました。

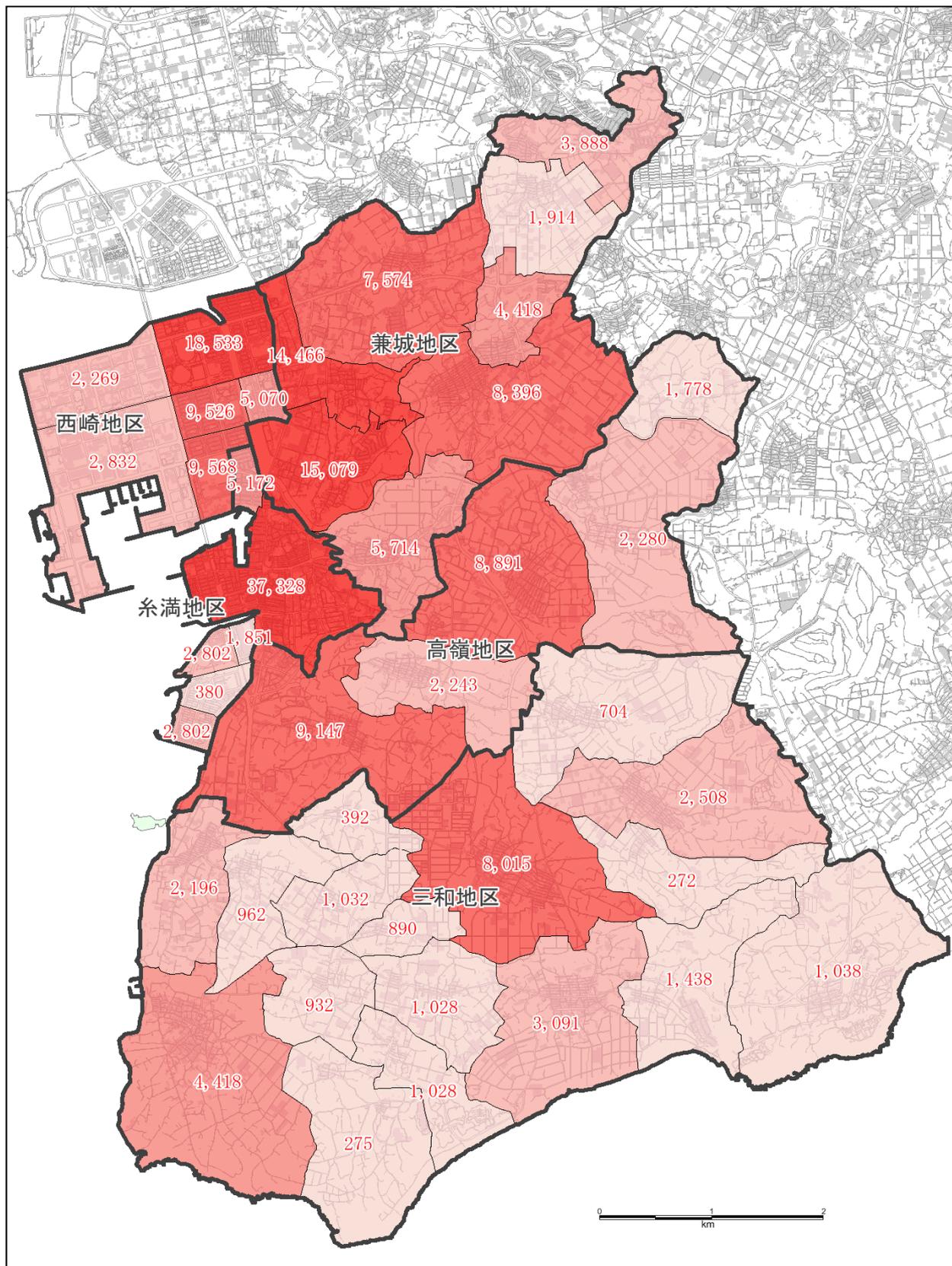
※国道・主要地方道：50km/h、一般県道：40km/h、その他市町村道等：30km/h



▲市民の移動ルート推定図

⑦小地域毎の交通量（H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査）

「字糸満」を発着する交通量が最も多く、三和地区では「字真壁」が最も多い傾向です。

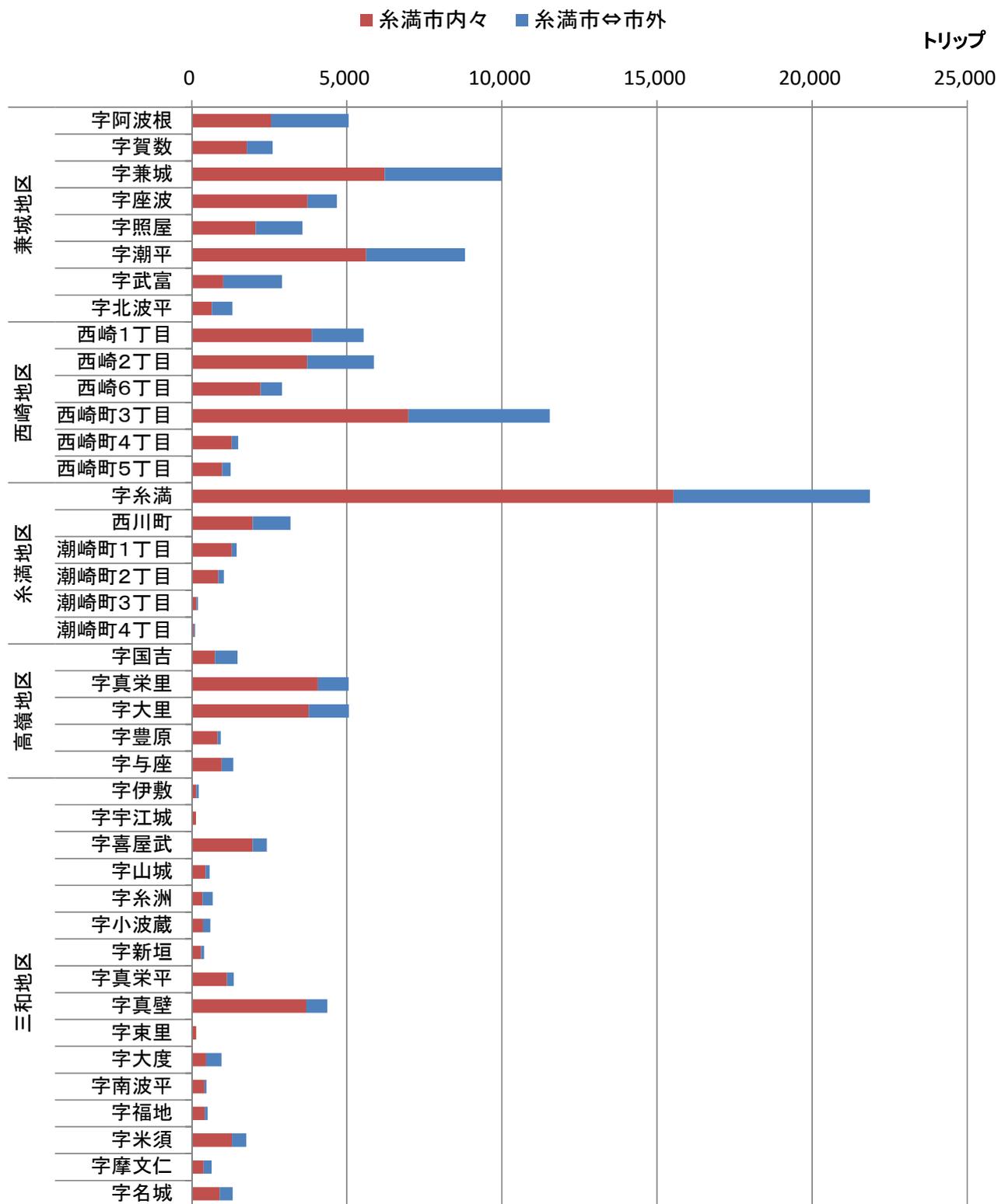


▲小地域毎の発生集中交通量（単位：トリップ／平日）

※H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査（調査時期：H18年10月、11月平日1日）

### ⑧市内々・内外交通量の比率（H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査）

「兼城」「西崎」「糸満」地区では糸満市外との交通量比が高い傾向にあり、「三和」「高嶺」地区では比較的糸満市内で完結する交通量が多い傾向です。



▲小地域毎の内々・内外交通量（単位：トリップ／平日）  
 ※H18 沖縄本島中南部都市圏 PT 調査（調査時期：H18年10月、11月平日1日）